

DIAS データダウンロードシステム

一括ファイルダウンロードスクリプトの実行方法

操作説明書

2025年5月23日

■ 一括ダウンロードスクリプトとは

DIAS データダウンロードシステムでは、データダウンロード機能として次の 3 つの方法があります。

1. ファイルリスト一覧からファイルタイトルをクリックする方法（1 ファイルを選択する方法）
2. ファイルリスト一覧の各ファイルタイトルの左側のチェックボックスをチェックして「ダウンロード」ボタンを押す方法
3. 「一括ダウンロードスクリプトのダウンロード」をクリックしてスクリプトをダウンロードし、そのスクリプトを実行する方法

目的のファイルが一つだけの場合は 1 の方法が便利です。いくつかのファイルをダウンロードする場合、2 の方法が便利です。ファイルリスト一覧には 1,000 ファイルまで表示されます。10,000 ファイルなど、大量のファイルをダウンロードするには、3 の方法が便利です。一括ダウンロードスクリプトでは、ダウンロードしたいファイルリストを含んだスクリプトをシステムが作成し、利用者は Web インタフェースを介さずにファイルを自分のパソコンにダウンロードすることができます。スクリプトファイル名は download.py です。

ダウンロード一覧

データセット名
説明

1945-47年撮影の航空写真を基にして作成された地形図より抽出を行った氷河分布域(サンプル版)
本データセットは旧ソビエト連邦陸軍が1945-47年取得の航空写真をもとに作成した地形図（10万分の1）をもとにアルタイモンゴル地域の氷河分布を抽出したものである。抽出方法は地形図に記載されている氷河分布をGIS上でマニュアル作業で行った。
すべてのデータの測地系はWGS 84 (World Geodetic System 1984)に変換した。

データセットドキュメントへのリンク
http://metadata.diasjp.net/dmm/doc/GI_1945-DIAS-ja.html

ディレクトリ指定	キーワード指定
/maps/eur/eur_glc	

ディレクトリ指定は手動で入力することもディレクトリ名をクリックすることでも可能です。
キーワード指定はディレクトリ名、ファイル名の一部の指定ができます(部分一致の選択を推奨)。
ディレクトリ指定とキーワード指定を同時にすることも可能です。

単語はスペース区切りで複数を指定出来ます。
検索モードによる違いは以下の通りです。
・[単語一致](#)
・[ワード検索](#)

ファイル検索

以下リストの全ファイルをダウンロードするための一括ダウンロードスクリプトが利用できます。
スクリプトを利用した場合、データ提供者および DIAS のデータ利用規約に同意したものとみなします。

一括ダウンロードスクリプトのダウンロード (スクリプトの使い方)

50,000 ファイル以下に絞り込まれるとリンクが表示されます。

以下のリストの全ファイルをダウンロードするための一括ダウンロードスクリプトが利用できます。
スクリプトを利用した場合、データ提供者および DIAS のデータ利用規約に同意したものとみなします。

一括ダウンロードスクリプトのダウンロード (スクリプトの使い方)

• ファイル選択によって除外している場合は検索結果の全ファイルが対象となります。
• チェックボックスへのチェックの有無に関わらず、全ページの全ファイルが対象となります。

(注) 1 スクリプトが保有可能なファイル数は、1 日にダウンロード可能なファイル数が上限となっています。上限ファイル数の増加が必要な場合は、dias-office@dias.jp.net にご連絡ください。ただし、50,000 ファイル以下に絞り込まれると、スクリプトダウンロードのリンクが表示されます

で、50,000 ファイルを超えるファイルをダウンロードしたい場合は、複数回にわけてダウンロードしてください。

■ スクリプト実行のための環境構築

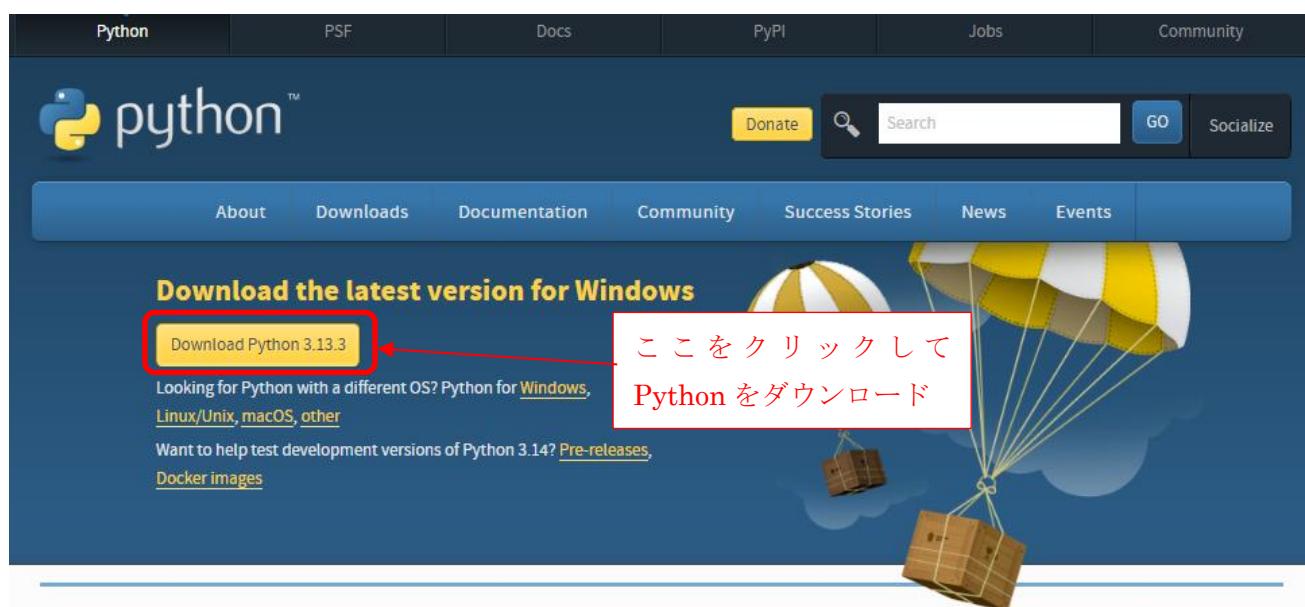
一括ダウンロードスクリプトは Python3.6 以上を必要としています。

スクリプトの実行環境である Python をインストールします。

公式サイト (<http://www.python.org/>) から使用する OS 等の環境にあわせた Python3.6 以上をダウンロードし、インストールします。

■ Windows 環境

1. インストール



Download タブを開いて Windows の Python 3.13.3 をクリックします。

このファイルを実行して Python をインストールします。

インストールの際、python.exe 作成と環境変数設定のオプションをみつけてチェックを入れると設定が楽になります。

2. download.py の実行

コマンドプロンプト（ファイル名は cmd.exe）を起動し、cd コマンド（フォルダ移動）でダウンロードしたスクリプト（download.py）の保存パスに移動します。

script というディレクトリに download.py を保存した場合は、コマンドプロンプトで、 cd script と入力します。移動したディレクトリで dir コマンドを実行すると、保存した download.py を確認することができます。

```
e:\コマンドプロンプト  
e:¥cd script  
download.py を保存したディレクトリに移動します  
e:¥script>dir  
ドライブ E のボリューム ラベルは ボリューム です  
ボリューム シリアル番号は 20E6-F235 です  
e:¥script のディレクトリ  
2017/10/11 12:08 <DIR>  
2017/10/11 12:08 <DIR>  
2017/09/12 11:15 924,765 download.py  
1 個のファイル 924,765 バイト  
2 個のディレクトリ 112,004,780,032 バイトの空き領域
```

保存した download.py を実行するために、コマンドプロンプトから次のようにコマンドを実行します。

```
python.exe download.py
```

DIAS アカウント（メールアドレス）の入力が求められますので、登録されているご自身の DIAS アカウントを入力して Enter を押してください。続いて、パスワードの入力が求められますので、同様にパスワードを入力して Enter を押してください。（パスワードは入力されても表示されません。）正しく入力されていれば、ダウンロードが開始されます。

```
C:¥script>python.exe download.py  
Username:  
Password:  
/jra55/Const/JRA-55.gribtab OK  
/jra55/Const/LL125.ctl OK  
/jra55/Const/LL125.grib OK  
/jra55/Const/LL125.idx OK  
/jra55/Const/LL25.ctl OK  
/jra55/Const/LL25.grib OK  
/jra55/Const/LL25.idx OK  
/jra55/Const/TL319.ctl OK  
/jra55/Const/TL319.grib OK  
/jra55/Const/TL319.idx OK  
/jra55/Const/TL319.pdef OK  
/jra55/Const/TL319_pdef.ctl OK  
C:¥script>
```

実行例

このスクリプトを実行すると download.py があるディレクトリにファイルがダウンロードされます。実行中ダウンロードされたファイルがリストアップされます。

3. 実行結果

スクリプトを実行した結果が、ファイルが正常にダウンロードできた場合は OK と表示され、ダウンロードできなかった場合は NG と表示されます。

ファイルのダウンロードが完了すると、ダウンロードシステムに登録されているパスと同じ構造でカレントディレクトリの下にファイルが保存されます。

スクリプトを再度実行した場合、前回ダウンロードしたファイルに上書き保存されます。

■ Linux 環境

1. インストールの確認

python -version と入力して Python のバージョンを確認します。

Python3.6 以上であれば問題なくスクリプトが実行できます。

2. download.py の実行

ターミナルからダウンロードしたスクリプト (download.py) の保存パスに移動します。

Python スクリプトを次のように実行します。

```
chmod +x download.py  
. ./download.py
```

DIAS アカウント（メールアドレス）の入力が求められますので、登録されているご自身の DIAS アカウントを入力して Enter を押してください。続いて、パスワードの入力が求められますので、同様にパスワードを入力して Enter を押してください。（パスワードは入力されても表示されません。）正しく入力されていれば、ダウンロードが開始されます。

```
[root@dias01 tmp]# chmod +x download.py  
[root@dias01 tmp]# ./download.py  
Username: user@example.com  
Password:  
/ocean/mirai/MR00-K01_ctd/0001L01.dat  OK  
/ocean/mirai/MR00-K01_ctd/0001L02.dat  OK  
/ocean/mirai/MR00-K01_ctd/0001S01.dat  OK  
/ocean/mirai/MR00-K01_ctd/0001S02.dat  OK  
[root@dias01 tmp]#
```

実行例

このスクリプトを実行すると download.py があるディレクトリにファイルがダウンロードされます。

実行中ダウンロードされたファイルがリストアップされます。

3. 実行結果

スクリプトを実行した結果が、ファイルが正常にダウンロードできた場合は OK と表示され、ダウンロードできなかった場合は NG と表示されます。

ファイルのダウンロードが完了すると、ダウンロードシステムに登録されているパスと同じ構造でカレントディレクトリの下にファイルが保存されます。

スクリプトを再度実行した場合、前回ダウンロードしたファイルに上書き保存されます。

■ Mac 環境

1. インストールの確認

ターミナルで `python -v` と入力して Python のバージョンを確認します。

Python3.6 以上であれば問題なくスクリプトが実行できます。

2. `download.py` の実行

ターミナルからダウンロードしたスクリプト (`download.py`) の保存パスに移動します。

Python スクリプトを次のように実行します。

```
chmod +x download.py  
./download.py
```

DIAS アカウント（メールアドレス）の入力が求められますので、登録されているご自身の DIAS アカウントを入力して Enter を押してください。続いて、パスワードの入力が求められますので、同様にパスワードを入力して Enter を押してください。（パスワードは入力されても表示されません。）

正しく入力されていれば、ダウンロードが開始されます。

3. 実行結果

スクリプトを実行した結果が、ファイルが正常にダウンロードできた場合は OK と表示され、ダウンロードできなかった場合は NG と表示されます。

ファイルのダウンロードが完了すると、ダウンロードシステムに登録されているパスと同じ構造でカレントディレクトリの下にファイルが保存されます。

スクリプトを再度実行した場合、前回ダウンロードしたファイルに上書き保存されます。

■ [応用].netrc を使った認証 (Linux、Mac)

事前に.netrc ファイルを準備することで、DIAS アカウントとパスワードを入力すること無く自動的にダウンロードをスタートすることができます。

ユーザーホームディレクトリに、下記の内容の.netrc ファイルを準備してください。

```
machine data.diasjp.net  
login user@example.com (各自の DIAS アカウント)  
password XXXXX
```

.netrc ファイルが正しく準備されていると download.py 実行時に DIAS アカウントとパスワードの入力が要求されず、すぐにダウンロードが始まります。

(注意) DIAS アカウントとパスワードが他人に知られないように、.netrc のファイルパーミッションにご留意下さい。

■ 制限事項

1 スクリプトが保有可能なファイル数は、1 日にダウンロード可能なファイル数が上限となっています。上限ファイル数の増加が必要な場合は、DIAS 事務局 dias-office@diasjp.net にご連絡ください。ただし、50,000 ファイル以下に絞り込まれると、スクリプトダウンロードのリンクが表示されますので、50,000 ファイルを超えるファイルをダウンロードしたい場合は、複数回にわけてダウンロードしてください。

不具合・ご質問等ございましたら、下記 DIAS 事務局までお問い合わせください。

お問い合わせ先 : DIAS 事務局 dias-office@diasjp.net

改訂履歴

2017/10/11	新規作成
2019/01/15	50,000 ファイル以下に絞り込まれると、スクリプトダウンロードのリンクが表示される旨追記
2019/07/10	50,000 ファイルを超えてダウンロードする場合は、複数回に分けてダウンロードする旨追記
2020/11/11	DIAS アカウントおよびパスワードの設定方法の変更に対応
2025/05/23	対応する python のバージョンを変更